

2026 年 8 月 24 日

株式会社三菱 UFJ 銀行

京都フュージョニアリング株式会社への出資について

株式会社三菱 UFJ 銀行（取締役頭取執行役員 おおさわ まさかず 大澤 正和、以下 当行）は、エネルギー安全保障への貢献、脱炭素社会の実現および次世代産業の育成を主たる目的として、今般、フュージョンエネルギー^[1]による発電に関する技術開発に取り組む京都フュージョニアリング株式会社（以下 京都フュージョニアリング）に追加出資しました。

エネルギー安全保障への関心が高まる中、フュージョンエネルギーは燃料資源の地域的偏在性が低いことを背景に、地政学的リスクの影響を受けにくい安定的な脱炭素電源となり得る次世代技術として期待されており、各国において、商用化および社会実装を見据えた開発競争が加速しています。日本では 2030 年代の発電実証が国家戦略^[2]に位置づけられ、官民投資ロードマップが策定されるなど、政策的な後押しが本格化しています。

京都フュージョニアリングは、フュージョンエネルギープラントの実現において重要となる基盤技術、設備およびエンジニアリングソリューションの提供に強みを持つ、日本発のスタートアップです。国内外の研究機関やプラント開発企業を顧客としており、日本の技術を世界に展開することで、フュージョンエネルギーを日本の新たな産業として確立することを目指しています。

今般の資金調達を機に、同社は、国内外の R&D 拠点の整備、技術開発の推進、プラズマ加熱システム等の製造能力の増強等を図り、事業基盤を強化する予定です。

本出資を通じて、当行は、京都フュージョニアリングの取り組みを支援するとともに、フュージョンエネルギー産業の育成を後押ししてまいります。

【京都フュージョニアリングの概要】

名称	京都フュージョニアリング株式会社
代表者	代表取締役会長 CEO 小西 哲之、代表取締役社長 COO 世古 圭
設立	2019 年 10 月
URL	https://kyotofusioneering.com/
所在地	【本社】東京都大田区平和島六丁目 1 番 1 号 東京流通センター 物流ビル A 棟 AW1-S
事業内容	フュージョンエネルギープラントの基盤技術・設備の提供 およびプラントエンジニアリング

^[1] フュージョンエネルギーとは、軽い原子核同士が融合して別の原子核に変わる際に放出されるエネルギーでありそのエネルギーを利用した発電の実現に向けた研究開発が進められている

^[2] 内閣府「フュージョンエネルギー・イノベーション戦略」（2025 年 6 月 4 日改定）

<https://www8.cao.go.jp/cstp/fusion/index.html>

以 上